



平成 11 年 6 月



### さらに学習指導案と授業の間を

広島市教育センター次長 財津伸子

美術科のベテラン，H先生の話です。急に美術の自習指導が入り，教室に行くと，生徒たちが課題のデッサンに取り組んでいました。静かにまじめに描いています。が，先生にはどこか気にかかりました。少し様子を見た後，「人の顔のデッサンはどう描いたらいいかなあ」と問いかけました。生徒は黙ったまま。そこで先生は黒板いっぱい大きく顔をデッサンし，デッサンは自分の思いを表現して描けるものだと話しました。それからは，生徒たちが楽しそうに描き始め，自習時間の後，廊下で「絵って楽しいね」と話しかけてきた生徒もいたということです。「生き生きした気持ちで描いてほしくてね」とH先生。

教師なら当然かもしれませんが，わずかな時間で生徒の思いを見取り，即座に助言をして生徒を意欲的にしたH先生の力は，やはり，素晴らしいものです。

学習指導案では，学習活動や発問は論理的に組み立てられ，簡潔に記述されます。授業では，教師は，その案を軸に，論理と実体の間を往来します。時々刻々子どもの言動や表情からその子の思考や思いを見取り常に学びが成り立っているかを見取ります。そして，学級の状況，学習のねらい，学習環境や自分の準備等々

を瞬時に考え合わせて，自分にできる最良の行動を判断し，実行します。子どもの学びの状態を見取れば見取るほど，予測を越えた判断を要求され知識や知恵を総動員して対応せねばなりません。授業は瞬時瞬時の見取り－判断－実行の連なりです。

この見取り－判断－実行の力を教師の「実践知」と呼ぶことができます。実践知は授業の成否を左右します。実践知が高ければ，H先生のように，学習を一人一人の子どものものに具体化でき，不十分であれば，例え学習指導案が問題解決的な，単元学習的な発想であっても，一方的な教え込みの授業に留まりがちです。実践知は機能的な力ですから，自覚的な授業実践を通してはじめて身につく，教師一人一人に固有で個性的なものです。その意味で，毎日子どもの学習指導に取り組んでいる教師のみがもっているかけがえのない力であるといえます。

子どもの「学び」の創造が求められていますが，そのためには，まず，教師が，学習指導案と授業の間を見つめて，自らの実践知に誇りをもちながら，さらに豊かで柔軟な実践知にしていくことが不可欠だと思います。

もくじ

- 研究紹介 ..... P 2, P 3
- 講座案内 ..... P 4
- ライブラリ・教育関係資料案内 ... P 5
- 教育実践のアイデア ..... P 6, P 7
- 教育センターひろば ..... P 8

## 横断的・総合的な学習の可能性は？

### 小・中学生における「生きる力」をはぐくむ教育方法に関する実践的研究

教育センター主任指導主事 吉竹 邦昭  
指導主事 首藤 龍彦

21世紀の社会は「先行き不透明な社会」といわれ、また、子どもの育ちには「学びの危機」「心の危機」など危機的状況がみられます。

「総合的な学習の時間」の創設など、〔ゆとり〕の中で〔生きる力〕をはぐくむ教育の実現をめざす今回の学習指導要領の改訂は、このような子どもや社会の状況等を背景にして行われたものです。

#### 1 「総合的な学習の時間」のねらい

新学習指導要領では、「総合的な学習の時間」のねらいを次のように示しています。

- ① 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
- ② 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること

#### 2 「総合的な学習の時間」の学習活動と横断的・総合的な学習

「総合的な学習の時間」の学習活動を展開するうえで大切なことは、次の3点にあります。



「総合的な学習の時間」の学習は、学ぶ内容（テーマ）・方法の両面で「子どもありき」を原則とする問題解決的な学習・体験的な学習となります。なお、横断的・総合的な学習は、従来の各教科・領域の内容と関連をもたせてすすめるか否かの学習方法をいいます。

#### 3 地域社会の生活課題の解決をめざすことを目的とした総合的な学習の実践例

この実践は、広島市立A小学校第5学年の児童（104名）を対象に、「知って得するまちタウン〇〇情報を発信しよう」を活動のゴールとするものです。具体的には、児童が地域社会における生活課題を明らかにしたうえで、より豊かな生活を営む方法を試行錯誤しながら追求し、その成果を生活情報としてまとめるというものです。

次の図は、児童がタウン誌に掲載したいと考えた情

報の内容例と「坂道歩行でダイエット」情報グループの学びのようすです。

#### 《子どもがタウン誌に掲載したいと考えた情報の内容例》

- ・「山とうまくつきあう」情報
- ・「海の見える場所」情報
- ・「犬の糞げき滅」情報
- ・「のら猫・のら犬の保護」情報
- ・「坂道歩行でダイエット」情報
- ・「大型スーパーへの楽しく道」情報
- ・「ごみをなくそう」情報
- ・「まちのイベント・行事」情報
- ・「公民館の上手な利用」情報
- ・「まちの鉄人に学ぶ」情報

#### 《「坂道歩行でダイエット」情報グループの学び》

- （仮説の設定）  
坂道歩行を続ければ、ダイエットができる  
（仮説の検証）  
↓ 歩行を続けるが、つらくてしかも効果が上がらない
- （仮説の修正①）  
坂道をジョギングすれば、ダイエットができる  
（仮説の検証）  
↓ ジョギングを続けるが、とてもつらく体によくない
- （仮説の修正②）  
坂道を楽しく歩けば、楽しくダイエットができる  
※「坂道楽しく登校」から情報をもらう  
（仮説の検証）  
↓ ゲーム等して楽しく歩けるが、危険である
- （仮説の修正③）  
山歩きだと、安全にしかも楽しくダイエットができる  
※「山とうまくつきあう」及び「海の見える場所」から情報をもらう  
（仮説の検証）  
ゲーム等しながら楽しく山歩きをする （後略）

児童の学びは自己の学びをコントロールし、試行錯誤を繰り返し、児童が納得しながら自己の問題解決を図るものとなっています。そして、児童はこのような学びを通して、次のようなことに楽しさを感じたり自信をもったりしたようです。

#### 【楽しさを感じた理由】

- ・自分や自分たちで調べたり探したりすることが迷いながら何回もできたから
- ・自分たちの決めたことが徹底的にできたから
- ・見たり聞いたり、触ったり作ったり自分たちの考えで活動をつくり工夫できたから など

#### 【獲得できた自信】

- ・自分たちが調べたこと
- ・自分たちの町のこと
- ・自分たちの町について説明できること
- ・人に聞く（尋ねる）こと など

このように、児童は自己の学びに対して充足感や、様々なことに自信をもつことができたようです。

※ 詳細は、教育センター研究紀要第19号をご覧ください。

## 体験的な学習活動を重視した

### 福祉教育・ボランティア学習の推進に関する実践的研究

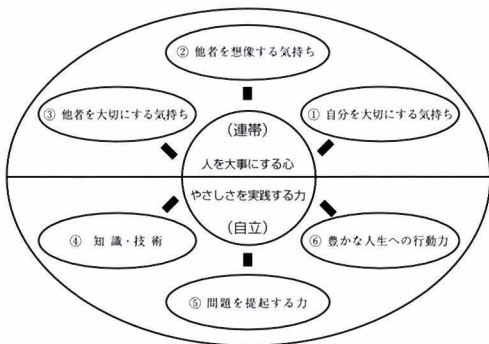
教育センター主任指導主事 木村 正信  
指導主事 名和原恵理  
指導主事 井坂 雅浩

幼児児童生徒一人一人に、地域での高齢者や障害のある人たちと触れ合い、支え合い学び合おうとする態度や人にやさしくできる心を育成していくには、どのようにしたらよいのでしょうか。

福祉の心を育てる福祉教育・ボランティア学習の効果的な活動や指導の在り方を探ってみました。

#### 1 福祉教育・ボランティア学習とは

福祉教育・ボランティア学習は、福祉課題（幼児、高齢者、障害者など）にかかわることを中心問題として扱い、一人一人の人権に対する意識の育成を意図的に取り組む営みであると言えます。そのめざすものは、福祉の心です。それは、「やさしさ」や「思いやり」というような心情面と「やさしさ」を行動面で実践していく力で構成されています。



取り組みの方法や内容には次の3つがあります。

①心情の育成 ②福祉の理解 ③実践的態度の育成  
また、次の点が取り組みのポイントになります。

- ① まず体験させる、それからその活動について考えさせるといった流れで学習させる。
- ② 幼稚園・学校、地域に合った課題、身近な課題に取り組ませる。
- ③ 一過性で終わらせるのではなく、学校や学年等で継続的に取り組ませる。

#### 2 福祉の心を育てるには

それでは、どのように指導すれば福祉の心を育成できるのでしょうか。

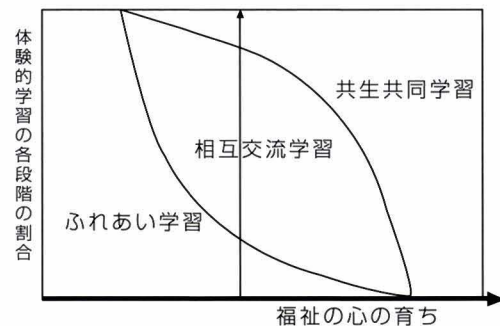
##### ○ 体験的な活動の段階

例えば、高齢者との活動を次のように考えてみました。

段階	学習名	キーワード(主活動)	活動例・行動例
第1段階	ふれあい学習	高齢者と共に過ごす	・高齢者と楽しく過ごす ・高齢者と話す ・高齢者と触れる ・高齢者に尋ねる
第2段階	相互交流学習	高齢者と共に活動する	・高齢者に働きかける ・高齢者に伝える ・高齢者とかわり合う
第3段階	共生共同学習	高齢者と共に考える	・高齢者と考える ・高齢者を認め合う ・高齢者を思いやる ・高齢者を励ます

子どもの発達（福祉の心の育ち）や実態に応じて3つの学習を組み合わせることが大切です。

矢印の部分は、その体験的学習の組合せの割合の一例です。



#### 3 福祉の心を育てる実践授業

どのように実践を行ったか一例を紹介します。

○校種・学年 小学校 第4学年

○教科・領域 社会科

○単元名 「わたしたちのくらしとごみ」

〈福祉教育の視点〉

- ・ 高齢者と仲良く話をするができる
- ・ 高齢者の考えや生き方に触れ、高齢者に対する理解を深める

○実践授業の様子



ふれあい学習「おじいちゃん、おばあちゃんとお話をしよう」  
相互交流学習「地域のお年寄りにごみについて調べたことを聞いてもらおう」

○成果

高齢者とのかわり方の工夫（共に過ごす→共に活動する→共に考える）によって、子どもが高齢者に対する意識に「福祉の心」の兆しが見られました。

※ 詳細は、教育センター研究紀要第19号をご覧ください。

# 教師として、今、あなたに 必要なものは何？

教育センターでは、教師のライフステージ等に応じた講座を用意しています。

## 教員としての「自分さがし」をすすめるための講座

- 教職経験者研修講座Ⅰ：実践の振り返りによるステップアップ。そして自分のよさや可能性を再発見する。
- 教職経験者研修講座Ⅱ：自分の教職経験を生かして考える教師としてのライフ設計をする。

## 「生きる力」をはぐくむ教育や総合的な学習を学校全体でつくりだすための講座

- 教務経営講座：「生きる力」とは？ そのための教育とは？ 教育課程編成の方法などについて考える。
- 校内研修運営講座：「総合的な学習の時間」の実践に向けた校内研修の進め方について考える。

## 「生きる力」をはぐくむ教育を学年集団と地域社会が連携してつくりだすための講座

- 学年経営講座：「生きる力」をはぐくむ教育活動には地域社会との連携が必要。そのための学年集団づくりを考える。

## 新しい教育の流れを具体化するための講座

- 「総合的な学習の時間」特別講座：「総合的な学習の時間」のねらいや学習活動は？ そのためのテーマ設定は？ 児島邦宏教授の講義と先進校の実践から考える。

講義「総合的な学習の時間」のねらいと学習活動 東京学芸大学教授 児島 邦宏

- 生涯学習講座：生涯学習社会の中では学校と地域社会が連携した教育が重要。社会教育に携わる人々とこれからの教育を考える。

## 教育活動全体を通して行う教育を充実させるための講座

現代的な課題に総合的に取り組んでいくための基本的な考え方と方法は？ いろいろな分野から考える。

- 福祉・ボランティア教育講座：福祉・ボランティア教育の基本とその具体的展開  
講義「福祉・ボランティア教育の基本と現状」 中部学院大学教授 阪野 貢
- 学校同和教育講座：豊かな人権感覚を育む同和教育の課題とその改善・充実の方法  
講義「これからの同和・人権教育」 NHK解説委員 福田 雅子
- 障害児教育講座：教育改革の趣旨を踏まえた障害児教育の進め方  
講義「教育改革の動向とこれからの障害児教育」 帝京大学教授 大南 英明

## 子どもが学び、その楽しさを味わうことのできる授業づくりをすすめるための講座

- 学習指導講座：子どもが学ぶとは？ そのための授業づくりや教師の支援・評価について考える。  
※ 各教科指導の講座も、子どもの学びをはぐくむ指導法について考える。

## 子どもの「居場所」のある学級づくりをすすめるための講座

- 学級経営講座：学級崩壊が深刻な問題となっている今、必要な子ども相互の人間関係の育て方を考える。  
各学期ごとの実践発表を基に、学級経営について1年間継続して考える。
- 生徒指導講座：子どもの心の深層は？ 子どもの行動の背景にあるものは？ 事例を基に、問題行動に対する援助・指導の進め方について考える。  
講義 子どもの「荒れ」の背景とその理解 広島県立広島学園教護労作主任 鐵谷 敏則

## 教育についての幅広い知見をもつための講座

- 教養講座：今、学校教育に求められているものは？ 教育に携わる意味と魅力とは？  
講演「学校教育に求めるもの（仮題）」映画監督 大林 宣彦

# ご活用ください



## 教育用ソフトウェアライブラリ

**対 象**

広島市教育関係職員

**利用日時**

月曜日～金曜日 9:00～17:00（閉庁日を除く）

**利用内容**

— 教育用ソフトウェアの検索と試用 —

約2000本の教育用ソフトウェアの中から必要なソフトを検索して試用することができます。  
 学習指導用ソフトウェア以外にも、ワープロ文書のファイル変換や時間割の作成、アンケート集計処理、OCR（光学式文字認識）などのソフトウェアを利用した校務処理を行うことができますのでご利用ください。

— 教育情報の検索 —

インターネットと常時接続している端末を設置しており、WWWで提供されている教育情報を検索することができます。  
 教育センターが保有する教育図書、教育研究資料、視聴覚資料、学習指導案等の教育情報も検索することができます。  
 また、広島市立図書館が保有する図書情報を検索できますので、ぜひご利用ください。

— 教育用ソフトウェアの活用に関する相談 —

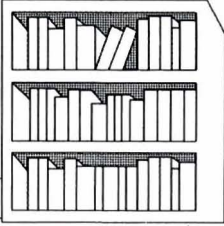
情報処理技術者が専門的、技術的な相談にお答えします。遠慮なくご質問ください。

## 教育関係資料

教育情報データベース

昨年度に続き、教育情報として各教科・領域に関する学習指導案や生徒指導事例などを110件収集してデータベースに登録し、その一覧を各学校(園)へ送付しました。4階のソフトウェアライブラリで利用できますので、職員に申し出てください。

教育図書・教育研究資料・視聴覚資料



○昨年度購入した視聴覚資料です。ぜひご利用ください。

教科・領域	タイトル
国 語	美しく豊かな言葉をめざして②
理 科	野鳥図鑑
体 育	わらび座民舞指導（ミュージックテープ付）
美 術	楽しくわかりやすい美術鑑賞ビデオ 「生涯をかけた情熱と表現 フィンセントファンゴッホ」
生徒相談	STOP the いじめ
障害児教育	多動症候群への理解と対応「落ちつきのない子どもたち」
性 教 育	小学生のための性教育シリーズ I 導入編、II 生理編、III 生殖編

教育図書及び教育研究資料は3階の「図書資料室」、視聴覚資料は4階の「ソフトウェアライブラリ」に置いております。

## 教科書センター

小・中・高・養護学校の教科書等を展示しています。閲覧の際は、職員に申し出てください。  
 ○展示場所 3階ロビー ○利用日時 月～金 9:00～17:00



## インタビューを取り入れてみましょう

### 国語科教育（中）

自分の考えを伝え合う力を高めるために

担当：森下

「授業で生徒が自分の思いを語りたがらない。」という話をよく聞きます。

しかし、思春期前後の子どもたちの心の治療にあたっている水島広子氏は「感情を適切な方法で表現し他者と共有したり、交渉したりしてゆくことがスムーズにできない場合、感情は消えてしまわずに蓄積され、不自然な形で爆発する。感情をいかに自然な形（通常は言語によって）で表現できるかというコミュニケーション能力が、その人生の質を決める。」と言っています。

また、昨年12月に告示された新学習指導要領では、「伝え合う力」がクローズアップされました。コミュニケーション能力と言い、伝え合う力と言い、今の子どもたちには、静かに自分の思いを見つめ、掘り下げ、それを他の人に伝え、心の交流を図ることによって、自分の生き方を考えるという経験が不足し

ているのではないのでしょうか。

そこで、新聞づくりを目的に互いにインタビューする時間を設けてはどうでしょうか。自分たちの夢、悩み、得意なこと、夢中になっていること等をインタビューし合ってみます。

インタビューと言うからには、事前に相手に取材の目的を告げ、どんなことを聞きたいか、相手の都合はどうか、アポイントメントをとる必要があります。また、インタビューを意義あるものにするために、自分もインタビューしようとする内容について考え、調べ、的を得た質問を考えなければいけません。さらに、インタビューをまとめた記事を相手に読んでもらい、話をした趣旨にそっているか、正確かを確認して誠実な文章にしていくことが大切です。

この授業で最も大事なものは、相手の話をきちんと受け止め、わからないことは質問し、率直に自分の気持ちや考えを伝えながらお互いが理解し合うことです。良い記事を書くために、互いに自分の思いを伝え合う努力をする機会を否応なく創り出すことによって、伝え合う力を高めていきたいものです。

## 現在の実践を見つめ直してみましょう

### 道徳教育（小）

読み物教材の活用によって一つの価値について追求する授業づくりからの転換を

担当：吉竹

「なかなか話し合いが深まらない」「子どもの価値観が高まらない」。これらは、道徳の時間の指導における教師の悩みの一例です。その原因の中には、一つの資料（読み物教材等）を活用して一つの価値（よりよく生きるためのよりどころ）について追求させていくという、いわば固定化した指導の方法があるのではないかと考えます。

よりよい生き方を追求するとき、一つの読み物教材だけにねらいとする価値が内在されているものでなく、様々なもの（新聞や音楽など）によりよい生き方を探求できる「種」が含まれています。ときには、子どもが道徳の時間に活用しようともち寄った資料が、生きた教材となり得るのです。また、一つ一つの教材には複数の価値が内在していることを、私たちは忘れてはなりません。

そこで、子どもの価値観を耕しはぐくむために、道徳の時間の指導に当たっては、いつも読み物教材によって一つの価値について追求する授業づくりからの転換を図ることが必要ではないかと思えます。それは、道徳の時間の学習が、子どもにとって、自分の思いや考えを明確にできるとともに、他者の思いや考えと照らし合わせて自分の思いや考えを見つめ直すという知的な楽しさを感じることができる時間でなくてはならないと考えるからです。

教材を通して感じ考えたことを出し合い、それらをそれぞれの観点から他者と共に吟味することによって、その過程で生まれる自己や他者との対話が知的な楽しさとなり、よりよい生き方を自然体でかつ本気になって探求することができるのではないかと思えます。

また、読み物教材だけにこだわらず、ねらいとする価値や子どもの実態等を踏まえて、新聞の投書欄や漫画、CDなどを教材とした授業づくりにも積極的にチャレンジしてみてもどうでしょうか。きっとこれまでとは違った子どもの学びに出会うことができるでしょう。

実践してみましょう

生徒指導

子どもとのやりとり分析

担当：砂原

子どもの自己肯定感を高めることは、生徒指導がめざしているものの一つです。子どもが最も多くの時間を過ごす毎日の授業を、子どもが自己肯定感をもてるようにしていくことは、生徒指導の側面からとても大切なことです。

子どもの自己肯定感を育む授業づくりというと、とても難しいことのように感じるかもしれませんが、一人一人の子どもの反応をきめ細かく観察し、子どもの心の状態に応じたかわり方を研ぎ澄ます努力を少しずつ積み重ねることによって、誰にでも可能になります。

そのための方法として、「子どもとのやりとり分析」をおすすめします。教室にテープレコーダやビデオを持ち込んで授業を録音、録画し、子どもとのやりとりを分析するのです。



授業の後にテープを起し、自分のはたらきかけに子どもがどのように反応したか、その子どもの反応に対し自分はどのように応じたか、そのような応じ方をしたのは子どもの反応をどのように理解したためか、その理解の仕方は正しかったのか、他の理解の仕方はなかったのだろうか、など、自分のはたらきかけが作り出した子どもとの関係を分析するのです。

この作業は、子どもを見る視点を広げたり、子どもの行動を理解する力量を高めていく有効な方法です。また、自らの教育実践の改善に直結した、非常に実践的な自己研修でもあります。授業記録をもとに他の先生と話し合えば、教育臨床の事例研究にもなります。

自らの教育実践を研究材料に子どもへのかかわり方を研ぎ澄まし、一人一人の子どもに応じた教育を実践していくことはとても重要です。ぜひ実践してみてください。



先進校に学びましょう

学校経営

特色ある教育を創る学校経営  
—統合性と多元性を調和して—

担当：永岡

新しい教育課程が2002年から実施されることになり、今その実現に向け、各学校では様々な準備が行われていると思います。中でも、「総合的な学習」は、各学校の創造性、自律性、協働性などに支えられて実現する教育活動でもあり、その準備は校外に及ぶものです。

ここで、「総合的な学習」に先進的に取り組まれているある小学校の実践を紹介します。この学校は「子どもの夢実現」をめざし、その活動のバリエーションを取り除いた教育課程を、三つの「〇〇学習」に編成して行われています。「〇〇学習A」は、学習活動の効率化をねらい、共通化できる複数教科の内容を関連させた学習で、基本的には教科の内容を変更しないで行われるものです。「〇〇学習B」は、今必要なことについてテーマを教科の枠にとら

われずに子どもと共に設定し解決する学習です。そして、「〇〇学習C」は、個々の子どもが今追求したいことをもとに自分でテーマを設定し追究する学習です。これは、「自ら学ぶ」への転換を図り、子どものダイナミックな活動を可能にする教育の営みそのものです。

これは、「みんなが先生、どんなものも教科書、どんなところも教室」の考えに基づいた支援体制が、校内外に整備されているためではないかと思います。そして、その運営面において、統合性（共通理解、共通指導、意志統一などを重視）と多元性（専門性、個性、自律性、主体性などを重視）が調和した学校づくりが行われているものではないかと思います。つまり、学校あるいは「合校」という組織の統合性を維持しつつ、個々の特性を生かす集団や組織（ストレスが生じにくい多彩に変化する集団、互いに認め合い個性を発揮できる集団、多様な人間関係づくりができる集団、いつでもTTができる組織、ダイナミックな学習開発が可能な組織、多様な支援活動により個を生かす組織など）が構築されているということです。

# 教育センターひろば

## 職員・分掌

事業等	職名	職員	担当業務
	所次 長	大園 隆久 財津 伸子	所務総括 所務管理執行
管理部	庶務 主任 経 理 主事	入江 哲男 佐伯 敬子 江口 裕子	部内総括 予算・決算, 文書, 経理等 予算・決算, 施設設備, 経理等
研究部	教育研究 主任指導主事 指導主事 指導主事	木村 正信 森下 幸子 首藤 龍磨	部内総括, 生活科, 特別活動, 社会教育 教育研究・調査, 研究物刊行等, 国語科教育 教研生研究, 教育研究・調査等, 障害児教育
調査部	教育調査 主任指導主事 指導主事 指導主事 (兼)指導主事	砂原 文男 井坂 雅浩 尾形 慎治 三原 裕隆	部内統括, 生徒指導, 教育相談 教育調査等, 音楽科教育 校内研修支援, カリキュラムセンター研究, 算数科・数学科教育 生徒指導, 教育相談
研修部	研修 主任指導主事 指導主事 指導主事 研修指導員 研修指導員	吉竹 邦昭 永岡 敏彦 名和 恵理 藤村 和彦 小滝 祥治 三井 賢二	部内総括, 社会科教育, 道徳, 地理歴史科・公民科教育 管理職研修, 学校経営 経験者研修, 幼稚園教育 初任者研修, 長研生研究, 外国語(英語)科教育 研修・実習の補助 研修・実習の補助
情報教育部	情報教育 主任指導主事 指導主事 指導主事 指導主事 研修指導員 図書資料室嘱託	神津 住男 板敷 憲政 松浦 俊雄 前田 憲壯 辻 剛二 大下 千賀子	部内総括, 情報教育, 教育工学 広報, 教育情報管理等, 理科教育 ソフトウェアライブラリ, 教育情報管理等, 理科教育 図書資料室, 教育情報管理等, 家庭科, 技術・家庭科教育 研修・実習の補助 図書資料関係事務



題 字 広島市立緑井小学校校長 井西 敏恵  
表紙絵 広島市立五月が丘中学校校長 木村 力太

編集・発行／広島市教育センター  
〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号  
TEL(082)223-3563 FAX(082)223-3580  
E-mail: center@education-c.edu.city.hiroshima.jp  
広 X 6 - 1 9 9 9 - 0 5 9

### 編 集 後 記

今年も、皆様方のより役に立つ教育センターになることをめざして、講座・資料整備・広報等の運営や整備を進めてまいります。ご意見、ご希望などお聞かせください。

### 教員長期研修生

(平成11年4月～9月)

今年度前期は次の5名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

- 国語科教育：長谷 富美 (河内小学校)
- 音楽科教育：神原久美子 (温品小学校)
- 図画工作科教育：桐野 寿久 (畑賀小学校)
- 理科教育：牛尾 正則 (口田中学校)
- 教育工学：部谷 治昭 (五月が丘中学校)

### 教員長期研修研究員

(平成11年4月～平成12年3月)

- 校内研修：重森 雅穂 (可部中学校)
- 校内研修：杉浦 透 (井口明神小学校)

### 職員の異動

- \* 離 退 任 ～在職中はお世話になりました～
- 福原 正明 主任指導主事 (日浦中学校へ)
  - 三原 裕隆 指導主事 (青少年育成部へ)
  - 今村 理恵 主事 (安佐北区役所へ)
  - 山岡 秋夫 研修指導員 (退職)
  - 谷本 嘉昭 教育相談員 (退職)
  - 竹本 富子 教育相談員 (退職)
  - 沖田 稔 教育相談員 (退職)
  - 久保野哲也 教育相談員 (退職)
  - 三上 寿磨子 教育相談員 (青少年育成部へ)
  - 谷山 明美 教育相談員 (青少年育成部へ)

### \* 就 任 ～どうぞよろしく～

- 永岡 敏彦 指導主事 (筒瀬小学校から)
- 江口 裕子 主事 (西区役所から)
- 三井 賢二 研修指導員 (己斐中学校から)